

能登を、
結ぶ。



2024年1月6日 珠洲市新戸町

渋谷敦志 写真展

Atsushi Shibuya Photo Exhibition

勝山文化往来館ひしおホール

岡山県真庭市勝山162-3 tel.0867-44-5880

2025年5月3日(土・祝)~25日(日)

10:00~16:30 | 水曜休館

一般 300 円 (高校生以下無料)



2024年1月17日 輪島市白米町

Atsushi Shibuya

Instagram

@shibuyaatsushi



SHIBUYAATSUSHI

渋谷敦志 写真展

Atsushi Shibuya Photo Exhibition

勝山文化往来館ひしおホール

岡山県真庭市勝山 162-3 tel.0867-44-5880

2025年5月3日(土)・祝~25日(日)

10:00~16:30 | 水曜休館

一般 300 円(高校生以下無料)



【オープニングトーク】 要入場料

5月3日(土)・祝 15:00~16:00

渋谷敦志さんによる解説

HP: <http://hishioarts.com>

E-mail: info@hishioarts.com

- 1 - 2024年4月8日 輪島市白米町
- 2 - 2024年7月4日 珠洲市高麗町
- 3 - 2024年7月3日~6日 能登町宇出津
- 4 - 2024年1月17日 輪島市河井町
- 5 - 2024年3月21日 輪島市稲荷町



渋谷敦志 / 著

展覧会会場でも販売します

税別 3,800 円

震災は、過疎や高齢化、人手不足といった、能登が以前から抱えていた問題をあらわにした。だが、生じたほころびから見えてきたのは、その地域の限界とは裏腹の、まだ力を出し切っていない可能性の方だった。その土地にずっと前から根づいている生業や、いざという時に命を守りうる人とのつながり、長年のうちに涵養された自然と共存する知恵など、能登が元々もっている力がたくさんある。こんなおっぴきならない時代からこそ、能登で生きることを下支えしてきた基層の部分に目を向けたいと思った。(『能登を、結ぶ。』あとがき抜粋)

渋谷敦志 (しぶや あつし)

1975年大阪生まれ。立命館大学産業社会学部、英国London College of Printing 卒業。大学在学中に1年間、ブラジル・サンパウロの法律事務所働きながら本格的に写真を撮り始める。大学卒業直後、ホームレス問題を取材したルポで同郷なき医師岡田日本主幹1999年MSFフォトジャーナリスト賞を受賞。それをきっかけにアフリカ、アジアへの取材を始める。著書に『僕らが学校に行く理由』(ポプラ社)、『今日という日を描み取れ』(サウダージ・ブックス)、『まなざしが出会う場所へー越境する写真家として生きる』(新泉社)、『帰還するブラジル』(瀬戸内人)、『希望のダンスーエイズで銀をなくしたウガンダの子どもたち』(学研教育出版)。共著に『みんなたいせつー世界人権宣言の絵本』(岩崎書店)などがある。2021年、笹本恒子写真賞を受賞。



撮影：加古閑治

